

illustration by Takao Nakagawa



column | RAMPWAY

首都高名所案内⑤
**代々木
 眺めのいい
 PAレストラン**
 コラムニスト
 泉 麻人

自宅近くの永福から4号線に乗って、都心の方へ向かう。このルートはちよど正面にエンパイアステートに似たNTTドコモのビルが見えて、ふとハドソン川の向こうからマンハッタンへと走るニューヨークのドライバーの気分になる。そんなNTTのビルから近い4号線の代々木には、首都高では割と珍しい売店付きのパーキングエ

リアがある。ここは若い頃、グループでドライブに行く途中、菓子などを買い出したおぼえがあるけれど、当時平屋だった売店はいつしかドトールコーヒーの看板を出した2階建てのシャレた建物に生まれ変わっている。店員に尋ねたところ、3年前に改築されたらしい。ドトールが入った2階のフロア

は、食事もできるレストランになっていて、窓越しのカウンター席でカップルが肩を並べて天ぷらそばを食べていた。広々とした窓の向こうに首都高と明治神宮の森が見渡せる。いやあ、代々木PAがこんな絶景スポットになっていたとは知らなかった。

外苑で首都高を降りて、神宮外苑の並木道を抜けて、代々木の方まで引き返してきた。参宮橋の所から横道に入って、おちついた住宅街のなかに見つけたコインパーキングに車を駐めた。さてここからは、歩いて界限を散策しよう。

参宮橋西方に続く代々木の台地の一帯は、かつて代々木山谷と呼ばれ、岸田劉生の絵画などにも描かれた昔の山の手らしい切通しや石垣の道が所々に残っている。地名の如く、まさに山谷が入りくんだような地形だったのだらう。高級マンションに変貌した所にも、往年のお屋敷の面影が漂う生垣が残されていたりする。

尾根道の風情が感じられる代々木5丁目の湾曲した道を進んでいくと、やがて前方に深い森が見えてきた。代々木八幡だ。裏門から境内に入ると、小高い所に深い緑青の屋根をのせた社殿があって、その奥方に狐像を並べたお稲荷さんが祀られている。「八百年祭

の告知が出ていたから、社の創建は1200年代頃なのだろうが、境内にはもつと古い史跡が存在する。茅葺き屋根を設えられた竪穴式の住居。尤もこれは戦後復元されたものだが、石器時代の住居がこの山に存在したらしい。ま、それほど古くから住みやすい環境の土地だった、ということだ。

境内の森は神社によくあるクスノキ、それからシイ、ケヤキ、カシ、といった武蔵野らしい樹木で構成されている。そういえば、この代々木八幡、幼い頃に七五三の参拝で来たおぼえがある。そのとき確か、ギンナン拾いをして、調子にのって拾いすぎた弟が手を真っ赤にカブレさせて大変なことになるのだ。

しかし、改めて樹相をよく見るとイチヨウは数本ばかりしかない。もしやここでやったのはドングリ拾いで、ギンナン事件は別の場所だったのかもしれない。

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、84年、フリーのコラムニスト。近著に『東京考現学図鑑』（編著 学研パブリッシング）がある。

2 コラム RAMPWAY
 泉 麻人

特集 環境

5 環境への新たな取り組み
 株式会社建設技術研究所 池田研究室 室長
 東京工業大学 名誉教授
 池田駿介

7 持続的未來を得るための
 環境革命とネットワーク
 東京都市大学 環境情報学部 教授
 涌井史郎

12 コラム バイ・ザ・ウェイ 太田治子

14 CHALLENGE
 さらなる環境への取り組み

15 データ物語
 CO₂排出が少ない首都高は
 すぐエコな道路!

16 首都高HEADLINE

18 business essay
 東日本大震災を
 環境イノベーションの好機に
 ベインキャピタル・ジャパン 会長
 堀 新太郎

20 つくる人まもる人
 首都高速道路サービス株式会社
 鈴木 博

22 高速百景 中野正貴

cover photo by Minoru Saito
 contents produced by
 Metropolitan Expressway Company Limited